

令和7年第1回（定例）高砂市教育委員会 会議録

令和7年1月23日午後1時30分高砂市教育委員会を高砂市役所南庁舎2階会議室2において開会

出席者

教育長	玉野 有彦
委員	吉田 美香
委員	山名 克典
委員	神尾 信作
委員	吉屋 章

出席事務局職員

教育部長	木田 匠	教育推進室長	福本 典子
学校教育室長	平山 健二	学校教育室参事	矢野 仁之
教育総務課長	石原 里美	学校教育課長	福永 慎也
青少年センター所長	長谷川 竜平	教育総務課係長	長谷川 宏輔
教育総務課	井上 僚介		

本日の会議に付した事件

協議事項

- 1 高砂市新たな学校づくり推進審議会に対する諮問について

報告事項

- 1 高砂市議会令和6年12月定例会の報告について
- 2 第4期高砂市教育振興基本計画（素案）に係るパブリックコメント（意見募集）の実施結果及び最終案について
- 3 高砂市新たな学校づくり市民説明会の開催について
- 4 高砂市新たな学校づくり推進計画アンケート調査について
- 5 外壁点検調査結果と今後の対応について
- 6 悩み相談シートによるアンケート結果について
- 7 高砂市外国語指導助手派遣業務業者選定結果について
- 8 庁内委員の任命について
- 9 高砂市教育委員会事業後援について

その他

- 1 2月行事予定について

午後 1 時 2 6 分 教育長本日の会議を宣告

議 事 協議事項 1 高砂市新たな学校づくり推進審議会に対する諮問について

○教育長 協議事項 1 高砂市新たな学校づくり推進審議会に対する諮問について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局 新たな学校づくり推進審議会は、市立小中学校の望ましい教育環境の実現に向けた計画を策定するため、教育委員会の附属機関として設置されたもので、その審議会に対しての教育委員会からの諮問案です。

今回、御意見等を頂戴しまして、次回 2 月 6 日の臨時教育委員会に議案として諮り、議決をいただきましたら、2 月 1 2 日開催予定の審議会に諮問します。審議会は諮問を受け、適正規模、適正配置や通学区域、施設の在り方など新たな学校づくりに関する審議を進めていき、令和 9 年 3 月頃に審議会より調査・審議した内容をまとめ、教育委員会に答申し、それを受けて、教育委員会にて新たな学校づくり推進計画を策定するという流れです。なお、審議会における検討内容等につきましては、適宜教育委員会にて御報告し、御意見を頂戴してまいりたいと考えております。

諮問書は、高砂市立小中学校における望ましい環境、つまり、よりよい教育環境と教育の質の向上を目指し、計画の策定について諮問します。

1 に計画を策定する背景として、不登校児童の増加、特別支援学級の児童生徒数の増加、建物の老朽化、I C T 環境の充実と学校教育の変化といった学校現場が抱える様々な教育課題、児童生徒数の減少を挙げています。

2 に諮問理由として、1 番の課題の解消及び緩和に向けて計画を策定し、その策定について諮問するとしております。

○教育長 事務局より説明が終わりました。

御意見、御質問ございましたらお願いいたします。

○委員 1 ページの背景の(1)のウですけど、「夏場の猛暑等、気象状況が変化中」、これは分かるんですが、「通学に際し長距離の移動を強いられる児童生徒がいます」、とありますが、もちろんそうなんですけれども、新しく学校編成した場合の方が通学距離が長くなる生徒が増える可能性が高いと思うので、背景の1つとしてはどうかと思いました。

○事務局 現時点で、長い距離を通っている児童がいたということで、記載しておりましたが、委員おっしゃるとおり、実際にこれから再編を考えていった場合に通学距離が長くなることも想定されますので、この部分を削除するなど修正させていただきます。

○委員 この教育課題にはこの間のアンケート調査の結果が反映されていますか。

- 事務局 アンケート調査の結果については、後ほど、報告事項で御報告したいと考えていますが、アンケートの内容と重なる点もありますが、その結果を盛り込んだというよりは、現状の分析をした結果で記載させていただいています。
- 委員 この前から何回かこの新たな学校づくりに関して話し合ったときに、いろんな項目があったと思いますが、5つぐらいで要約できるようなことでしたか。その項目と今の分とが合致していますか。
- 事務局 委員おっしゃるとおり、課題はこれだけではございませんが、今回、全ては書き切れないので代表的なものを列記いたしました。
- 委員 審議会で審議してもらうのは、この項目に限定した方がいいのか、それとも教育委員会で議論したこと全てがいいのか、どちらが正しいのでしょうか。
- 事務局 先ほど担当が言いましたように、諮問書では代表的な分にさせていただきますが、これから計画を作っていく中で、その計画全般に対しての意見をまとめていただくので、全体的な話をさせていただく予定です。

(休憩 午後1時37分)

(再開 午後1時43分)

- 教育長 他にございませんか。
- 委員 背景の(1)と(2)を逆にした方がいいですね。2番目の児童生徒数の減少が見込まれるというところがまず1番であって、2番目に学校に通いづらい登校渋りだとか特別支援学級の子が来る方が頭にすっと入ると思います。もう1つ思ったのは、不登校を減らすためには大規模より小規模がいいと思います。小規模校の方がそういう子どもに接しやすく、対処しやすいと思います。
- 事務局 委員おっしゃるとおり、児童生徒数の減少というのが非常に大きいところで、適正規模、適正配置というのが今回の計画の大きな部分を占めますし、分かりづらいということもありますので、(1)と(2)を変更させていただきます。
- 教育長 他にございませんか。
- (「なし」と呼ぶ者あり)
- 教育長 それでは、協議事項1については、了承します。

議 事 報告事項1 高砂市議会令和6年12月定例会の報告について

- 教育長 続きまして、報告事項1 高砂市議会令和6年12月定例会の報告について、事務局より説明をお願いいたします。
- 事務局 事件議案の図書館の指定管理では、2階テラスの利用調整と今後の活用について、デジタル情報の収集における情報リテラシーについて、従業員の雇用状況についてなど御質問がございました。

補正予算では、特別支援学級用の諸備品とサポートルームの空調設備について、体育館空調設備の借上料についての御質問がございました。

一般質問では、坂本議員から新たな学校づくりの推進計画の動きやスケジュールについて、保護者への説明について、岩見議員から若者が子育てしたいと思える「高砂市の教育」について、芝本議員からラーケーションの出欠扱いの考え方やスクールロイヤーについて、春増議員から震災の教訓を次世代につなぐことについて、インクルーシブ教育の推進とスクールアシスタント、介助員の増員についてございました。

文教厚生常任委員会では、荒井小中学校の天井吊りのテレビの撤去費用、小中学校の体育館空調設備について御質問がございました。

報告事項では、令和7年度の教育関係予算要望事項と教育振興基本計画についての御質問がございました。

○教育長 御質問、御意見ございますか。

○委員 10ページの岩見議員からの「高砂市の教育」についてで、市長さんと教育長さんがおっしゃっている言葉を読むにつけ、頑張らなきゃいけないと思わせていただきました。

○教育長 ありがとうございます。そう思ってくださいうれしいです。
よろしいですか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○教育長 報告事項1は了承させていただきます。

議 事 報告事項2 第4期高砂市教育振興基本計画（素案）に係るパブリックコメント（意見募集）の実施結果及び最終案について

○教育長 報告事項2 第4期高砂市教育振興基本計画のパブリックコメントの実施結果及び最終案について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局 パブリックコメントは、11月27日から12月27日の1か月間、募集を行い個人が6人、団体が1人、計7人の一般の方々からいただきました。全部で24件の御意見をいただき、小・中学生は、提出者が60人で、小学校の1年生から3年生が1人、4年生から6年生が21人、小学校の児童会等の計画委員会から1人、中学校から37人となっております。

3番以降にご意見の概要と教育委員会の考え方を、8ページから小中学生のアンケート結果をお示ししております。

17ページの次のページから計画の最終案をお示ししております。

前回の勉強会からの変更点は、御意見いただきましたK P Iの関係が1箇所、少しでも上を目指していくという意味で、明らかな根拠はないのですけ

れども3%で目標値を置きたいと思います。昨日、計画作成委員会でその内容で審査いただきましたが、特に意見はありませんでした。

○教育長 報告事項2につきまして、御質問、御意見ございますか。

○委員 意見募集で小中学校60人も返事したのですね。

○事務局 そうです。

○委員 文章として大人っぽいことが書いてありますが、学校で意見を求めたのですか。家へ持って帰ってということはありませんか

○事務局 各学校に案内をしまして、意見は各児童生徒それぞれであったり、小学校の児童会の方から皆で話し合っ意見を出してきたところもございます。保護者さんと話し合いしながらというのもあったのかとは思いますが、細かく追跡はできておりません。

○委員 この一般というのは、いわゆる保護者を含め一般の方が7名ということですかね。

○事務局 はい、そうです。

○委員 コメントの中で1つ気になったのが、「どこの市でも当てはまる内容」という記載があったことがすごくショックですね。みんな目標が一緒だから、いろんなことを書けばそういうことになるんでしょうけど、そういう言い方をされると非常につらいという気がしました。

○教育長 国と県の3者でつくるとそうなるかとも思いますけど、できるだけオリジナルのものを出させていただいておりますが、そのような意見があったことは事実でございます。

他にございませんか。

○委員 27ページの目標数値ですが、クラブ活動に参加している生徒の割合が現状10.1%で、令和11年には80.0%になっているのは、令和11年度だともう学校での部活動が全部廃止されて、完全に地域移行になっているから、地域全体で8割の生徒さんに入ってほしいという目標数値なんですか。

○事務局 部活の廃止はいつということは教育部としてはまだ決めていないですが、その頃には今部活をやっている方ぐらいの人数は地域クラブに同じように入っていたきたいという目標を設定しています。

○委員 地域移行になったときに、8割ぐらいの子どもたちが地域で活動してほしいという、そういう思いの数字として理解してよろしいですか。

○事務局 そういうふうに理解していただけたらいいと思います。

○委員 数字の考え方ですけど、現状で10%というのは、地域展開しているクラブに10%の子が現在参加しているということですね。

○事務局 令和6年度時点ではサッカーとソフトボールと陸上を実証研究しており、その割合を示しております。

○委員 分かりました。

- 教育長 他にございませんか。よろしいですか。
パブコメの部分がここに意見として入ってくるのですか。
- 事務局 今回、たくさんの御意見をいただきましたが、計画の中身、文言を追加することは特に行っておりません。貴重な御意見ですので、今後、事業を行っていく上での参考にさせていただきたいと考えております。
- 委員 7 ページの 14 番のコメントに対しての教育委員会の答えというのは、何か将来の部活動の形にもつながるようなすごくいいパブリックコメントだなと思って読ませていただきました。こういう需要は結構耳にしますし、それを実現している市町村も全国的に見たらちょこちょこあるので、大切に考えていただけたらなと個人的に思いました。
- 教育長 ありがとうございます。そうですね。
- 委員 特に、後段の高齢者だけじゃなくて、子ども世代、孫世代と関わりながら学ぶという、こういう形がうまくできればいいと思います。
- 教育長 循環できたらいいですね。ありがとうございます。
ほかにいいですか。
(「はい」と呼ぶ者あり)
- 教育長 報告事項 2 は承認することを了承します。

議 事 報告事項 3 高砂市新たな学校づくり市民説明会の開催について

- 教育長 報告事項 3 高砂市新たな学校づくり市民説明会の開催について、お願いします。
- 事務局 「みんなで考える高砂市の新たな学校づくり～高砂市の学校の現状とアンケート調査報告会～」と題しまして、市民説明会を開催します。
目的は、高砂市が「新たな学校づくり」に取り組んでいることのさらなる周知、高砂市立学校の現状と課題の周知、アンケート調査結果の共有を図ることです。
内容は、計画策定の趣旨、高砂市立学校の現状と課題、アンケート調査結果、質疑応答や意見交換としております。この中の高砂市立学校の現状と課題につきましては、児童生徒数・学級数の推移、学校配置や学校施設の現状といった学校に関する多面的な実態と学校施設・運営面での教育課題の現時点までの作業により把握した内容を市民の皆様と共有したいと考えております。
日程は、開催日時、場所、定員を記載しており、各中学校区に 1 回ということで、この 6 回を設定させていただいております。内容は全て同じになりますので、市民の皆様には御都合のよい時間・場所で御参加いただければと考えております。
- 教育長 質問はございますか。御意見ございますか。

○委員　どなたが説明されるのですか。

○事務局 教育総務課、教育推進室、その他できれば関係課です。市長部局の方にも出席いただくよう現在、交渉をしようとしているところです。

○教育長 教育委員会の者と市長部局の者を合わせて考えているのですね。

○事務局　そうです。

○教育長　分かりました。
よろしいですか。

○委員 はい。

○委員 説明会はどのように周知するのですか。

○事務局　周知は、ホームページと「広報たかさご」への掲載とスクリレによる配信を考えております。また、就学前のこども園の方々には、同様のシステムがございますので、配信依頼をしております。その他、庁内にも幅広く周知をして、参加いただけるように進めているところです。

○委員 市民説明会はいろんな分野であると思いますが、メンバーが決まっていたり、少ない人数で開催される説明会を何回か耳にしたり見たことがあります。

今回の説明会は保護者や地域の皆さんの理解とか意見とか非常に重要なことになってくると思います。定員が設定されていますけれども、より多くの子育て世代に来てもらって、意見をいただけるような形になるでしょうか、集めてほしいですね。

(休憩 午後2時09分)

(再開 午後2時17分)

○教育長　ほかにございませんか。よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○教育長 報告事項３は了承します。

議 事 報告事項4 高砂市新たな学校づくり推進計画アンケート調査について

○教育長 報告事項４　高砂市新たな学校づくり推進計画アンケート調査について
 お願いいたします。

○事務局 高砂市新たな学校づくり推進計画策定に向けたアンケート調査結果報告書（概要版）で、市民説明会や新たな学校づくり推進審議会などで活用したいと考えているものがございます。

調査期間は令和6年10月21日から11月30日までで、調査対象は全小中学校の児童生徒、その保護者、未就学児の保護者、教職員等、その他市民とし、調査対象別にその対象数、回答数、有効回答数、有効回答率を記載させていただきます。

2 ページでは「学校教育で重視して欲しいこと」という設問で、一番上に全体の回答率、その下にそれぞれの対象者ごとの回答率を記載し、その下の考察では、全体では、「集団の中で主体性や協調性を身に付ける機会に恵まれること」「一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導」「グループ学習や習熟度別指導など多様な学習環境」が重視してほしいことで、その割合が高いという結果となりました。ただ、特に教職員等につきましては、この3項目全て、いずれも重視しているというのがデータにて分かります。

3 ページから4 ページでは「小学校・中学校の最適なクラス数とその理由」という設問で、最適なクラス数は小学校3クラス、中学校4クラスという回答が一番多く、理由は「クラス替えができるから」「色々な人の考え方に触れる機会があるから」という回答が多いです。

7 ページでは「児童生徒数の減少に対する最も望ましいと思う対策とその理由」という設問で、選択肢は、「通学区域の変更」「近隣の学校と統合」「地域の実情に応じた小規模な学校の存続」の3つで、児童生徒は、「近隣の学校と統合」という回答が最も多く、児童生徒の保護者、未就学児の保護者、教職員と市民の大人の方々の回答は、選択肢それぞれおおむね3分の1という結果となりました。「通学区域の変更」若しくは「近隣の学校との統合」という選択肢を回答された数は全体で3分の2になりますので、回答された方々は、何らかの対応が必要だと考えられていると思われます。

8 ページでは「人数の少ない学校の対策を考える上で大切なこととその理由」という設問で、全体的に「安全に通学できる距離と時間」との回答が一番多いですが、教職員等の回答では「人数や学級数」の回答割合が最も多くなっております。

11 ページでは「学校の建物についてどのように改善してほしいか」という設問で、全体的に「きれいになって欲しい」というのが多くて、その次に「エアコンをつけて欲しい」、この2つの項目が非常に多いという結果になりました。

13 ページには自由意見を抜粋し掲載しております。

○教育長

説明が終わりました。御質問ございませんか。

○委員

考察の分の今後ですが、アンケートをして、さあ、この結果をどういうふうに反映していくかというときに、進めていく判断材料になるんですかね。今後いろいろ検討するんですよ。

○事務局

この結果というのは現時点での結果ですので、これも大きな材料とはなると思いますが、この結果でもって方向づけようとは考えていません。

(休憩 午後2時27分)

(再開 午後2時29分)

○教育長

他にございませんか。いいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○教育長 報告事項４は了承します。

議 事 報告事項５ 外壁点検調査結果と今後の対応について

○教育長 報告事項５ 外壁点検調査結果と今後の対応について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局 米田小学校のベランダ庇裏のコンクリート剥落を受けまして、調査を実施いたしました。

調査概要では調査対象は、全小中学校の校舎、体育館等の外壁等で、令和５、６年度に外壁改修を実施した部分は除いております。

調査方法は、目視によるコンクリート面の劣化の確認で、一部打診も行っており、調査者は、公共施設マネジメント室及び教育総務課の職員で、班体制で、調査期間は、令和６年１２月２日から１２月２４日まででございます。

調査結果は、著しい劣化を確認した箇所が小中学校合計約１３０箇所で、主な劣化内容は、軒・庇、バルコニーの裏、外壁におけるモルタル等の欠損、クラック、露筋などでカラー写真を添付しております。

今後の対応ではこのような劣化の部分の応急対応として、包括管理業務の修繕にて対応しますが、高砂小学校の児童昇降口はもう既に対応しております。予算は令和６年度の予算範囲内にて対応し、残りの部分は令和７年度予算にて対応していくことを考えております。

応急対応というのはどのような対応かということで、施工例の写真を添付しております。へこんだところがきれいに直るのが一番ベストですが、そうとなかなか対応は進みませんので、まずは危険をなくすために落ちそうなところを落として、これ以上落ちないように鉄筋のさび止めを塗って塗装するというような応急対応で、今回発見した１３０箇所を７年度までにするという方向で今検討しております。

劣化調査は、今回、職員で調査を実施しましたが、手が届かないところもございますので、そのあたりは令和８年度に外壁劣化調査業務委託を検討して、さらなる危険性がほかにないかというところは確認したいと考えております。

○教育長 御質問、御意見ございますか。よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○教育長 できるだけ子どもたちが安全に暮らせるように頑張ってくださいをお願いしまして、報告事項５は了承します。

議 事 報告事項６ 悩み相談シートによるアンケート結果について

○教育長 報告事項6 悩み相談シートによるアンケート結果について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局 悩み相談シートによるアンケート調査は、いじめはどの学校、クラス、子どもにも起こり得る問題であると深く認識して、今いじめに悩み苦しんでいる子どもたちをできるだけ早期に把握して、解消に向けて適切に対応するために実施しております。

調査結果のまとめを令和5年度を21ページと22ページ、今年度を23ページと24ページに添付しております。

小学校は、1学期のいじめ認知件数が22件、前年度が15件でしたので、7件の増加で、2学期は25件、前年度の28件に比べ3件の減少となっております。

いじめの態様で多いものは、1・2学期ともに、「からかわれたり、悪口を言われたりする」「ぶつかられたり、たたかれたり、蹴られたりする」というもので、認知した学校は組織的に被害児童、加害児童から詳しく事情を聴いた後、指導及び保護者への連絡を行うなど、丁寧な対応をしております。

指導後の状況は、1学期の22件の認知事案のうち20件が解消し、解消率は90.9%となっております。

文部科学省が示すいじめ防止等のための基本的な方針では、いじめが解消している状態とは、いじめに係る行為がやんでいる状態が少なくとも3か月の期間継続していることとされており、2学期の認知事案25件についての聞き取りは、報告が上がってきてから3か月後を目安に行うので2月に行う予定です。

中学校では1学期のいじめ認知件数が13件、前年度が3件でしたので、10件の増加で、2学期は認知件数8件、前年度の3件に比べ5件の増加となっております。

いじめの態様は、小学校同様、「からかわれたり、悪口を言われたりする」というものが多くを占めております。

指導後の状況は、1学期の13件の認知事案のうち10件が解消し、解消率は76.9%となっております。

悩み相談シートというアンケート結果以外に、ふだんの教育活動の中でいじめと認知した件数が、小学校の1学期で8件、2学期で19件、中学校の1学期で14件、2学期で13件となっており、いずれも昨年度より多くなっております。これは、いじめを積極的に認知して早期発見・早期対応に当たるように、教育委員会としても継続的に指導してきた成果であると考えております。

いじめの認知件数が多いということは、教職員の目が行き届いていることの証だというふうに文部科学省も捉えておりますので、件数が多いイコール

荒れているというわけではなくて、小さな段階で積極的に認知して対応に当たっていると考えておりますので、今後も積極的に認知して、その対応に努めていきたいと考えております。

○教育長 事務局より報告が終わりました。

御質問、意見はありますか。

○委員 今、報告があったように、件数が少ないのは何もいいことじゃないし、見逃していることもあったと思いますし、増えることが必ずしも悪いことじゃないという発言は本当に正しいと思います。

○教育長 他にございませんか。

○委員 いじめを認知する範囲というか、物差しは決まっているのですか。どうやって共有しているのですか。

○事務局 児童生徒や保護者からのいじめと疑われるような訴えを受けまして、各校のいじめについての組織に諮ります。そこでいじめになるのかならないのかを検討してその対応に当たっていきます。いじめにならないからほっといてもいいというわけではなく対応に当たっております。

○委員 認定の基準が学校や先生によってばらつきがあってはいけないと思いますが、統一するための研修の場はありますか。

○事務局 小中学校ともに生徒指導の先生方の担当者会、定例会というものを行っており、その中で情報共有ができて各学校に持ち帰っていじめの認知を行っているので、ある程度は共有できて同じ基準でできていると考えております。

(休憩 午後2時42分)

(再開 午後2時47分)

○教育長 他にございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○教育長 報告事項6は了承します。

議 事 報告事項7 高砂市外国語指導助手派遣業務業者選定結果について

○教育長 報告事項7 外国語指導助手の派遣業務業者選定結果について、説明をお願いいたします。

○事務局 派遣業務業者は、株式会社ボーダーリンクで、選定方法はプロポーザル方式で、令和6年11月25日月曜日に実施いたしました。

参入した業者は2者ありましたが、選定した主な理由は、(1)外国語指導助手につきましては、日本語能力試験N4以上が8割であり、日常会話が可能であり、(2)サポート体制につきましては、ICTを活用した教材が充実している、オンラインの英会話を1回無償提供している、ALTを複数名配置し評価することも対応可能であるという点、(5)独自提案につきましては、英

検対策であったり模擬試験の実施を通じて児童生徒の英語力向上に係る支援が可能であるというような点が優れていましたので選定いたしております。

○教育長 御意見、御質問ございますか。
(「なし」と呼ぶ者あり)

○教育長 報告事項 7 は了承します。

議 事 報告事項 8 庁内委員の任命について

○教育長 報告事項 8 庁内委員の任命について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局 高砂市子どもの学習・生活支援業務委託に係るプロポーザル選定委員会の委員に、教育部学校教育室の矢野参事が任命されましたので、御承認をお願いいたします。

○教育長 御質問はありますか。
(「なし」と呼ぶ者あり)

○教育長 報告事項 8 は了承します。

議 事 報告事項 9 高砂市教育委員会事業後援について

○教育長 報告事項 9 高砂市教育委員会事業後援について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局 事業後援承認はいずれも生涯学習課でそれぞれの日に承認決定をされています。

○教育長 御質問はありますか。
(「なし」と呼ぶ者あり)

○教育長 報告事項 9 は了承します。

議 事 その他 1 2月行事予定について

○教育長 その他 1 2月の行事予定について、お願いいたします。

○事務局 阿弥陀小学校ほか3校のオープンスクール、授業参観等がそれぞれの日に予定されています。

教育委員会は、6日17時に本庁舎3階301会議室で臨時教育委員会、12日13時半に南庁舎2階会議室で定例教育委員会がございます。

○教育長 予定で何かほかありますか。
他にございませんね。
(「はい」と呼ぶ者あり)

令和 7 年 1 月 2 3 日 午後 2 時 5 1 分 教育長会議の閉会を宣告
